

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 8月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその74 蛋白質率2.8%未満は要注意
乳成分の蛋白質率は、健康管理に欠かせない情報です。

- 2 大地 7月20日号 よつ葉乳業株式会社
牛群検定情報を飼養管理に活かそう 第6回
搾乳ロボットでの検定と飼養管理の注意点

よつ葉乳業

検索

- 3 LIAJニュース7月号 (一社) 家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その61) 乳脂率と周産期病について
乳脂率の活用を基本に戻って解説

検定成績表見方

検索

「ツマジロクサヨトウ」に注意

飼料用とうもろこしに発生中

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで発生範囲を拡大中
- ・アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ・日本では本年7月に、九州・沖縄で初めて発生を確認
- ・飼料用とうもろこしで多く発生しており、被害の拡大による畜産経営への影響が懸念されます

南北アメリカ→アフリカ→アジアへと拡大

ツマジロクサヨトウの特徴

幼虫の食害による被害



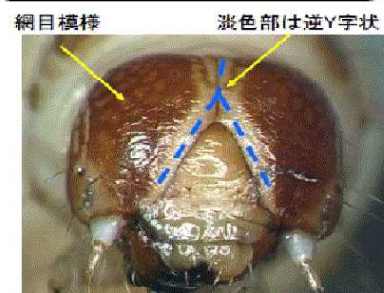
幼虫が葉、茎、子実を食害

飛翔距離が長い、繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150~200個
- ・生涯産卵数は最大1000個

形態の特徴



- ・幼虫の頭部には網目模様があり、「逆Y字」に見える。
- ・幼虫の体長は、1.7~40mm

多発すると被害が大きくなるおそれ！！

早期発見・早期防除
が不可欠

被害の拡大防止のため、

- ✓ 飼料用とうもろこしのほ場を確認し、疑わしい害虫を発見した場合は、速やかに問合せ先までご連絡ください
- ✓ 発生が確認されている地域(※)では、農薬の散布、早期の刈取を検討してください
- ✓ 地面に落ちている幼虫やさなぎを死滅させるため、次期作の有無にかかわらず、刈り取り後は、速やかに、深耕すき込み(目安は12cm以上)してください

(※)ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらで確認
(http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

〇問合せ先

横浜植物防疫所:tel 045-285-7135
名古屋植物防疫所:tel 052-659-1357
神戸植物防疫所:tel 078-389-5320

門司植物防疫所:tel 093-321-2809
那覇植物防疫事務所:tel 098-868-1679
又は 各都道府県の病害虫防除所まで

【農林水産省生産局畜産部飼料課】



牛群検定！点検シート（その１７ 双子、早流死産など）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょう！

農家コード 氏名

・検定成績表を参考に牛を観察しましょう！

検定成績表の裏面の「年間子牛生産状況」をチェックしてみましょう！

①成績表の双子、早流死産、難産が多くありませんか？（下図 矢印①）

Yes No
→Yes 死産や早産が5%を越える場合は、分娩管理等に課題があります。

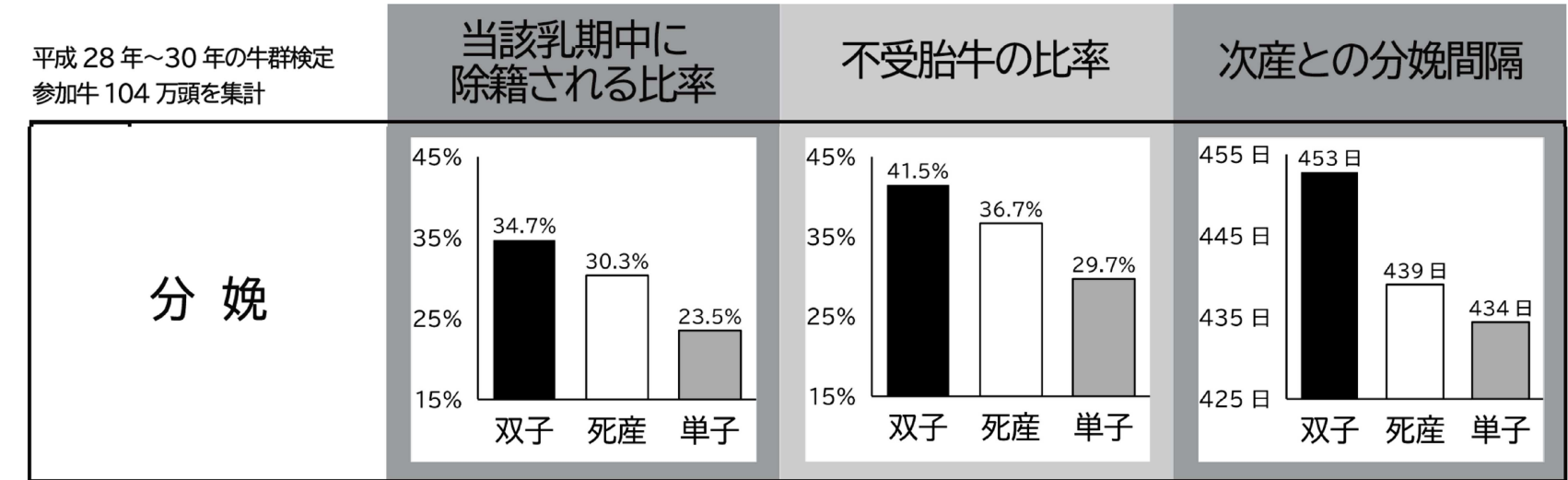
②生後一週間程度で死亡する子牛が多くありませんか？（下図 矢印②）

Yes No
→Yes 「推定新生子牛早期死亡」の欄が5%を越えている場合は、初乳や保温などの初期哺育に課題があります。

双子や死産は、泌乳能力や繁殖性と関連性があります。グラフに示した通り、当該乳期で除籍されてしまうケースが約30～35%とリスクが高くなります。受胎しない場合も多いのですが、受胎したとしても分娩間隔が長期化する傾向があります。

検定成績表の裏面
年間子牛生産状況 (1)牛群検定における分娩状況

母 牛	分 娩 数	分 娩				流 産	推 出 生 数	推 定 新 生 子 牛 早 期 死 亡	
		双子以上（♂♀）	死 産（早産除く）	難 産	早 産				
		※1	※2	※3	※4	※5			
1 産	8	0.00（0.00）	0.00（0.00）	0.00	12.50	12.50	8	2	25.00
2 産	13	7.69（7.69）	0.00（0.00）	30.77	7.69	0.00	14	0	0.00
3 産以上	23	0.00（0.00）	13.04（13.04）	17.39	4.35	0.00	20	6	30.00
計	44	2.27（2.27）	6.82（6.82）	18.18	6.82	2.27	42	8	19.05



※ 次産の分娩報告がないものを集計